

0. 導入

「小説まとめ」について
自動生成プログラムについて

1. 整備効果（まとめる人編）
2. 整備効果（まとめられる人編）
3. 整備効果（利用者編）
4. 統計情報から見えてくるもの
5. まとめ

0. 導入

「小説まとめ」について



イベント毎に有志によって作成される、小説本を出すサークルと、その新刊情報を一覧形式でまとめたWebページのこと。

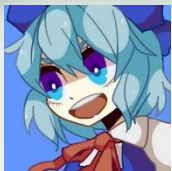
主に「東方Project」や「艦隊これくしょん」といった、メジャージャンルのオンリーや、コミケといった大規模オールジャンルイベントの際に作成されることが多い。

ただ、これには大きな問題がある。

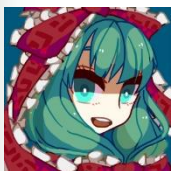
人的リソース（要するにまとめを作る人）が需要に比して非常に足りないのである。

0. 導入

「小説まとめ」について



Q.小説まとめってないところまるの？



A.実際困る。

小説まとめというのは、コミケや例大祭など同人イベントで小説サークルを回る上での宝の地図みたいなもの。

これがないと、

- ・小説サークルは大小様々なイラスト本サークルの陰に埋もれてしまう。

- ・小説本が欲しい人も探すのに困る。

(Webカタログでは役不足だ。オンリーイベントではそもそもWebカタログというものがない！)

- ・また、どういう本を出す予定なのかも理解してもらえないので、集客にも影響が出る。

という、「頒布しようにもそもそも気付いてもらえない」致命的な問題が発生したりする。

0. 導入 自動生成プログラムについて



このような「**まとめを作る労力**」を少しでも軽減しようと、私鍵山ゆーなが開発したプログラムが存在する。

www.thtenshouki.info/rts14_thnovels/

このページについて H島 (13) I島 (24) **J島 (4)** Q島 (1) U島 (1) G島 (1) し島 (1) ツイット 利用者アンケート

J島

J-01a 東方天翔記CPUダービー処

サークル代表者(申込者) : 鍵山ゆーな


新刊

新刊タイトル(判型・ページ数)	価格
総集編 東方一斗缶 ～マズレツースリストへようこそ(文庫判 468ページ)	1500 円
咲夜の次元(文庫判 276ページ)	1300 円
史上最大の厄神(文庫判 196ページ)	1200 円

タグ

- 鍵山雛の野望
- ひなやほ
- 鍵山雛
- ガルパン
- 武部沙織
- 十六夜咲夜
- 煉瓦焼成サークル

動作環境

OS : FreeBSD 9.1 (Linux)  FreeBSD

言語 : Perl v5.8.9



DB : MySQL Ver 14.14



詳しくは、Qiitaに記事があるので、そちらをご参照ください。

http://qiita.com/yuna_priest/items/f296c0f2b5a6db9ec5fe

0. 導入

自動生成プログラムについて



これは去年冬コミ（C91）時に思い立って作ったもの。

かつては「**発見！東方小説**」という非常に便利な小冊子があったりもしたが。

今はその企画も廃止されてしまっており、より一層小説まとめの重要性は増していると考えられる。

だが、これを作るというのは大変な労力であるというのもまた理解している。

どうにかして、こういうのを簡単に作れないか。

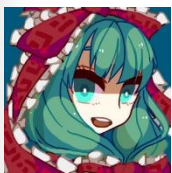
それがこのようなプログラムを作成した動機である。

0. 導入

自動生成プログラムについて



Q. ブログじゃダメなの？？



A. いやダメということはないけど……。

確かにこれら「～まとめ」はブログで作ってまとめるのが主流だ。
だが、大手ブログサービスを含め、大抵のレンタルブログでは広告が出る。

私はこれが嫌いなのだ。

別に人様がアドセンスで鞘錢を稼ごうと知ったことではないし、それに対して何を言う資格も権利も無いが。

自分で創るサービスにはできればこういうアドセンスは載せたくないと勝手に思っている。

実はブログが嫌だったのはただそれだけの理由だ。

しかし、このご時世、アドセンスが出ないレンタルブログサービスなど皆無に等しい。

目的が合致するサービスが無いなら作るしかないじゃないか。

0. 導入

自動生成プログラムについて

主な機能

✓ ソースコードの自動生成

主要機能。サークルと新刊のデータを登録するだけで、まとめの更新はプログラムが勝手にやってくれる。

✓ サークルを島ごとに表示する機能

どの島にどのサークルが居るのか一目瞭然。

✓ 島の目次の自動生成と、目次から島のサークルリストにジャンプする機能

利用者の操作性の向上に一役。島の目次もサークルの配置スペース番号から自動生成している。

✓ Webカタログ（モーメントやブログ）、主催のツイッターへのリンク機能

サークルが用意している詳細情報へアクセスできる。

✓ 新刊名と価格の表示

新刊が何冊あり、それぞれ価格はいくらか、というのが一目瞭然。
情報の密度が濃ければ、判型やページ数なども表示する。

✓ 委託ページへのリンク

委託ショップの当該通販注文ページへアクセスできる。

✓ タグの表示

キャラクターやシリーズ名などを網羅することで、ページ内検索を補助する。

✓ R-18サークルの場合、警告などを表示

タグにR-18が入っていた場合に、18歳以上であると確認できた場合にしか頒布できない旨と、身分証が必要な旨を警告する文言を表示する。

Ⅰ．整備効果（まとめる人編）

プログラムの整備による俗人化（専門性）の排除

「素人でも」というのはまだ難しいが……

「まとめページ作成」を機械的に行う事で、以下のような事を人間がやらなくても良くなった。

- Webページ（ブログページ）の作成
→HTMLやCSSといったマークアップ言語に関する知識は不要。
データベースから取得した情報を基に、定義済みのデザインでWebページが自動で生成される。
なので、「手入力」が極力無くなる事になる。
- 作成したページのアップロード
→データベースに登録されている情報を元に、プログラムが動的にWebページを生成するので、利用者が開いた時点で最新の情報が表示されることになる。
「作成や更新はしたけどpを忘れた」というのは最早過去の出来事。
- 面倒くさい登録作業
→データベースへの情報登録も、Webから情報を登録するフリーのツールなどを使用することで、データベースに関する専門知識がなくても登録や更新が可能。

確かに、**PerIを動かす環境を作る**、というのがまず骨ではある。

だが、それが自由自在にできる程度の能力があるのならば、誰でもこのプログラムを使用して、簡単にまとめページを作ることができる。

その気になれば更なる機能拡張だって可能だ。（*）

（*）ちなみに委託情報の表示に関しては今回から追加した拡張機能である。C91の時にはなかった。

Ⅰ．整備効果（まとめる人編）

今回の調査方式について



今回に関しては、「例大祭」であり、コミケではないため、Webカタログがなかった。
であるから、以下の方式でサークルから情報を募る方式を採用した。

掲載ポリシーは以下とした。

- ・ 右記手順通り登録の場合は必ず掲載する
- ・ 手順に従わない場合（特にシステム上必須である情報に抜けがある場合）は掲載しない
- ・ 更新情報も定期的に確認することにした
- ・ 当初掲載基準に満たなかった場合でも、情報更新により掲載基準を満たした場合は掲載する
- ・ 1日1回程度（開催一週間からは1日2～3回）更新（手動での情報の登録・変更）を行う
- ・ 新刊のみの情報記載とし、既刊は掲載しない

第14回博麗神社例大祭 「小説まとめ」の作成と運用について
鍵山ゆーな (@yuna_priest)

冬コミに引き続き、例大祭でもWebページ自動生成プログラムを使用した「例大祭小説まとめ」（仮題）を作成し、運用する予定です。

ですが、例大祭はコミケと違って「Webカタログ」がありませんため、情報の収集が困難です。

つきましては、第14回例大祭に小説サークルとしてご参加なされる皆様は、以下の手順に従って情報を掲載頂けますと大変助かります。

1. ご自身のTwitterまたはブログ等で告知ページを作成下さい。
(Twitterの方はできれば「モーメント」機能をご利用ください)
2. 作成したページのURLを以下のハッシュタグを付けて
サークル名・サークルスペースを併記してツイートして下さい。
「#例大祭14小説まとめ」（数字はできれば半角で）
3. 以上ハッシュタグに登録された情報をスペース番号と紐付けて掲載いたします。

運用開始（予定）：2017年03月20日 夜頃

Ⅰ．整備効果（まとめる人編）

今回の調査方式について

この手法を用いる事によるメリット・デメリット

メリット

- **時間短縮（調査工数の削減ができる）**

まとめる人が自分で細かく調査しなくても良い。

まとめる人が行うのは、サークルから貰う情報をデータベースに登録するだけの簡単な作業だけでいい。ブログ編集やHTMLソースの編集は一切不要だ。

延べ49日間に亘って更新運用していたが、実際に前回（C91）時より総作業時間は2時間減少した。

- **品質向上（サークルから直に情報を得ることができる）**

まとめる人があちこち（GoogleやTwitterなど）から検索をするとどうしても情報の粒度に係る品質が偏りがち。見落としや勘違いも発生する。

それをサークルからの情報提供という形にしてもらうことで、サークルが本当にアピールしたいことをそのまま掲載できる。

- **叱咤激励（新刊があるスペースを優遇することで創作意欲を刺激できる）**

新刊のみ掲載とすることにより、サークルへの新刊作成意欲の炊きつけができる。

要するに発破をかけることに。既刊のみだったのが急遽新刊を作った、とあれば、ファンとしては嬉しい誤算となりうる。

- **臨機応変（急遽新刊でも申告すれば掲載が可能である）**

新刊が出るかどうか分からなかったが何とか出た、という場合は大抵告知時間が足りなくなりがちだ。そういう場合でもまとめへの掲載が可能なので人目に留まる可能性が増える。

Ⅰ．整備効果（まとめる人編）

今回の調査方式について

この手法を用いる事によるメリット・デメリット

デメリット

- ・ **煩雑**

この方法の場合、手順を指定してサークルに「ページを作成して」、「情報を提供して」と頼むことになる。

どれだけ手順を簡略化したとて、決め事とは煩雑なものなのだ。

「何故こんなことをしなければならないのか」と思う人も少なくないだろう。

- ・ **面倒**

人間は型決めされると途端にやる気を失う生き物だ。

特に自発的にやらなくてよくなった場合は、すぐ「面倒だ」と思い出す。

そういった人間の感情によって情報の濃淡が左右されてしまう。

- ・ **不慣**

後述するが、今回一番大きな問題となったポイントである。

告知や宣伝、更にはツールの使い方に不慣れな人は少なくないだろう。

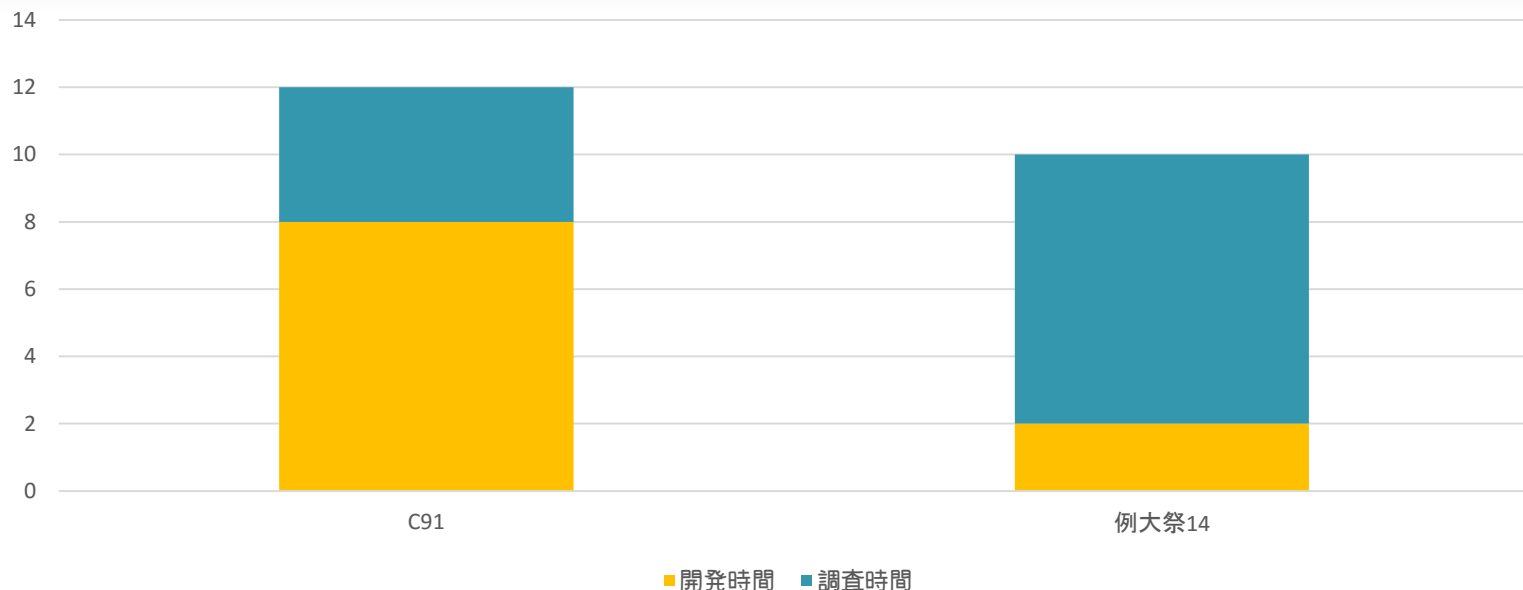
そういった人たちにとっては、今回の手法は敷居が高かった可能性がある。

- ・ **不安**

「これをやったら本当に掲載してもらえるのだろうか」といったり、「掲載されなかったらどうしよう」というような、「正答」が曖昧な事による漠然とした不安を掲載待ちの人は感じる事になる。

Ⅰ. 整備効果（まとめる人編）

プログラムの整備による時間短縮効果について



時短効果については、然程ではなかったというのが正直な感想だ。

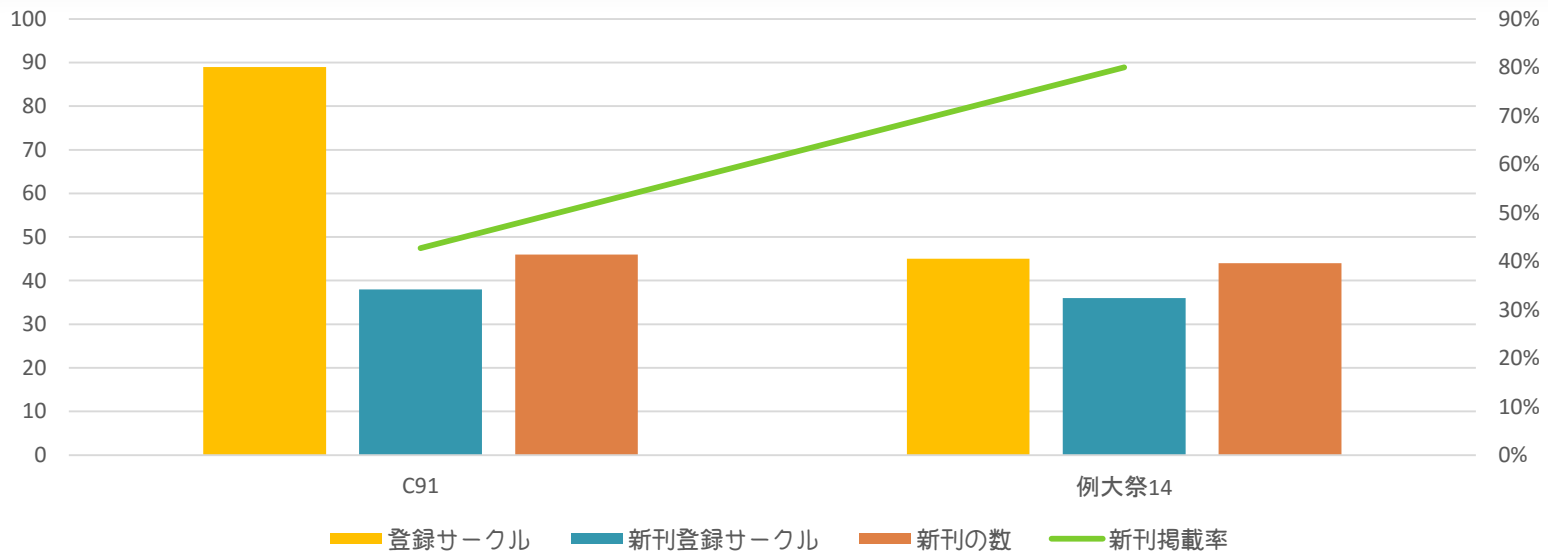
ただ、開発で掛かった時間は前回の1/4。

これはプログラムがC91の時点でほぼ完成形に近かったから、今回はスマホ対応や細かい機能の追加、バグの修正等だけで済んだというのが大きいと考える。

調査時間が肥大しているように見えるが、これは運用・調査期間(*)が長かったため。一日あたりの対応時間は平均 10 分程だ。

(*)前回は調査期間はたったの1日。今回は3/20～5/7までの49日。

Ⅰ. 整備効果（まとめる人編） プログラムの整備による品質向上効果について 情報の網羅性

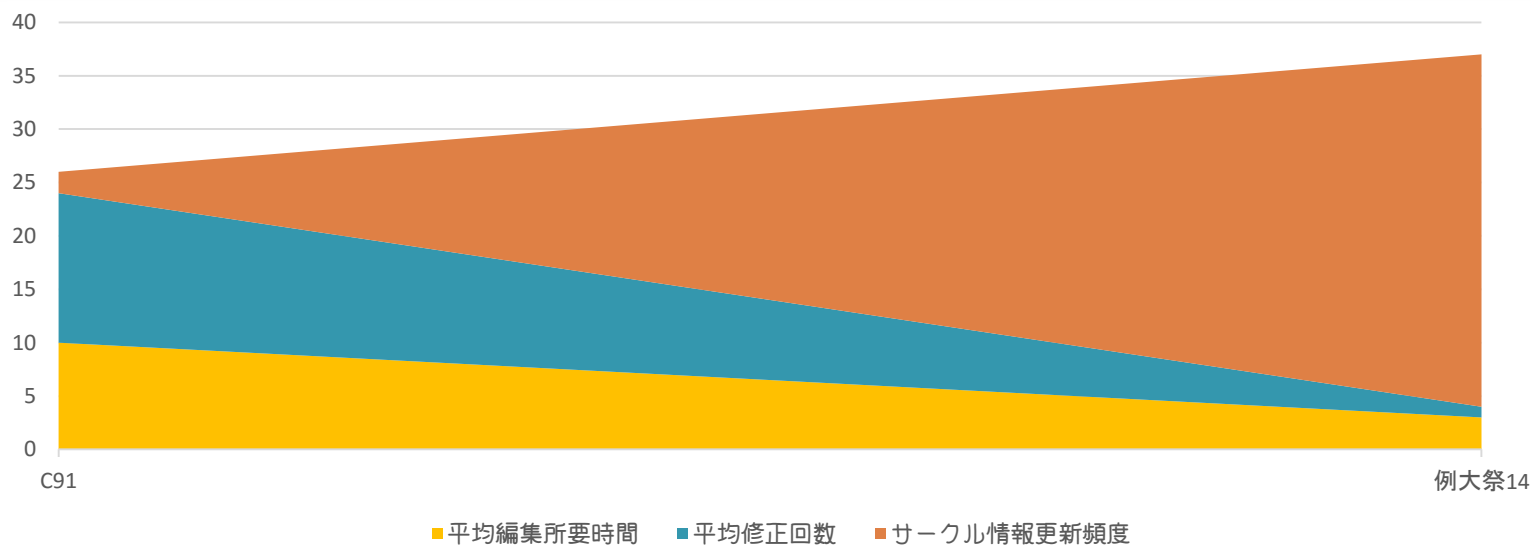


新刊登録数と新刊の数はC 9 1 とほぼ変化がない。

ただ、We bカタログに登録されているサークルを全て登録したC 9 1 の場合と比べて情報の正確さという品質観点（新刊情報の網羅性・無駄な情報を掲載していないというユーザー利便観点）に於いては向上していると思われる。

無論、新刊しか載せないよ、という建前で情報を募集しているので、新刊の掲載率（新刊発行サークル数 ÷ 登録サークル数）は8 0 %と高い数字を示している。

Ⅰ. 整備効果（まとめる人編） プログラムの整備による品質向上効果について 情報掲載時の作業の正確性と時短



こちらはまとめページ編集に於ける「平均編集所要時間（1サークルの登録に掛かる平均時間）」、「平均修正回数（発生したコピペミス、誤登録などの平均修正回数）」、「情報更新頻度」の推移である。

Ex c e l 等である程度新刊情報をまとめてから登録していた前回時に比べて、更新回数が著しく増大しているのに関わらず、編集所要時間と平均修正回数は減少している。これはプログラムによるソースコードの自動生成による編集手順減も然りであるが、こちらの注文通りの情報を出してくれるサークル以外は登録しないようにした事による作業効率向上効果も大きいと考える。

2. 整備効果（まとめられる人編） ポーリング調査結果

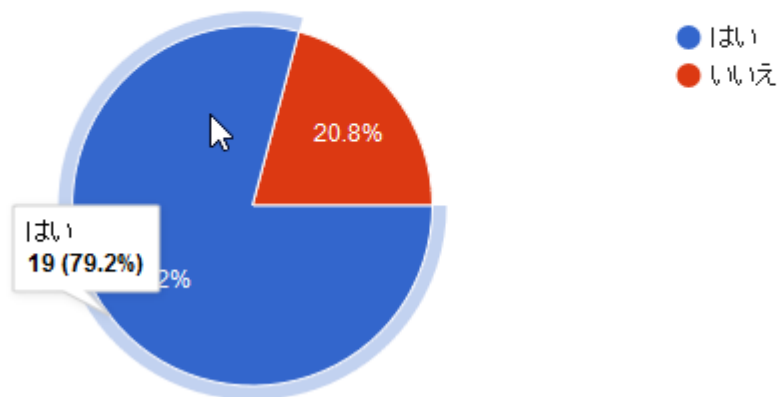


調査期間：2017年05月08日～2017年05月31日（24日間）

有効回答：24件、うちサークル19件（登録サークル45か所のうちの42.2%）

小説を出していたサークル参加の方ですか？

24件の回答

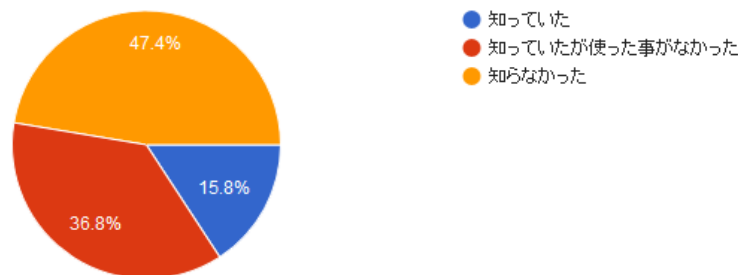


2. 整備効果（まとめられる人編） ポーリング調査結果



モーメントの使い方をご存知でしたか？

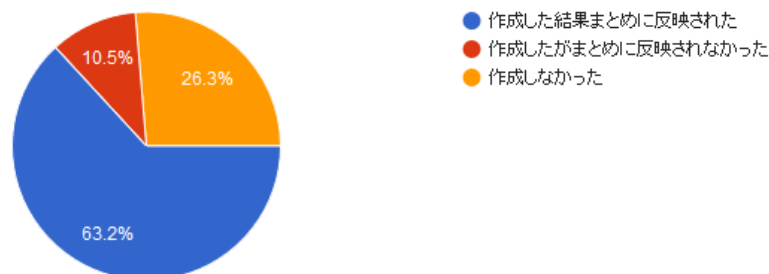
19 件の回答



「モーメント」という機能を知らないという人がほぼ半数。

実際に掲載の為にモーメントまたはブログ記事を作成しましたか？

19 件の回答



モーメントの作り方が分からず、作成を断念してしまった人もある程度居た様子だ。

反映されなかった方については、方針の通り、「手順誤りであるため」である。

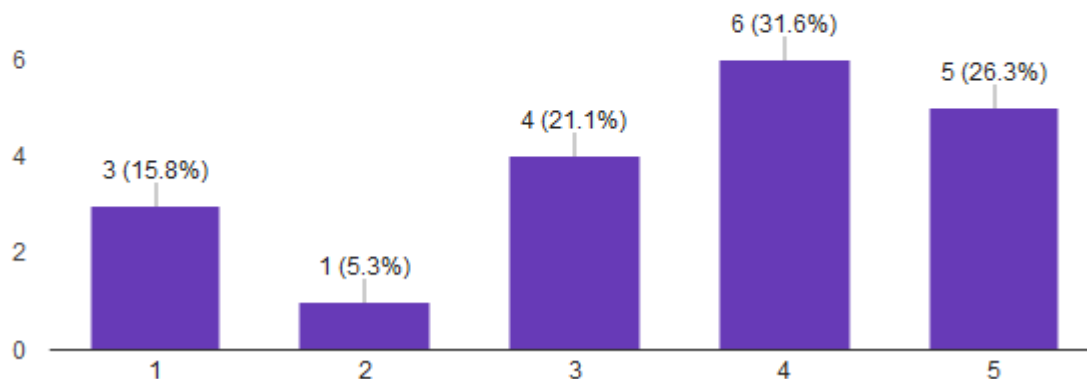
（私としては一応全てのツイートには目を通してている）

2. 整備効果（まとめられる人編） ポーリング調査結果



作成手順は煩雑でしたか？

19 件の回答



1 ← 面倒だった

そうでもなかった → 5

「手順が煩わしかったか」という設問に関しては、そうでもなかったと答えた人が割と多かった。

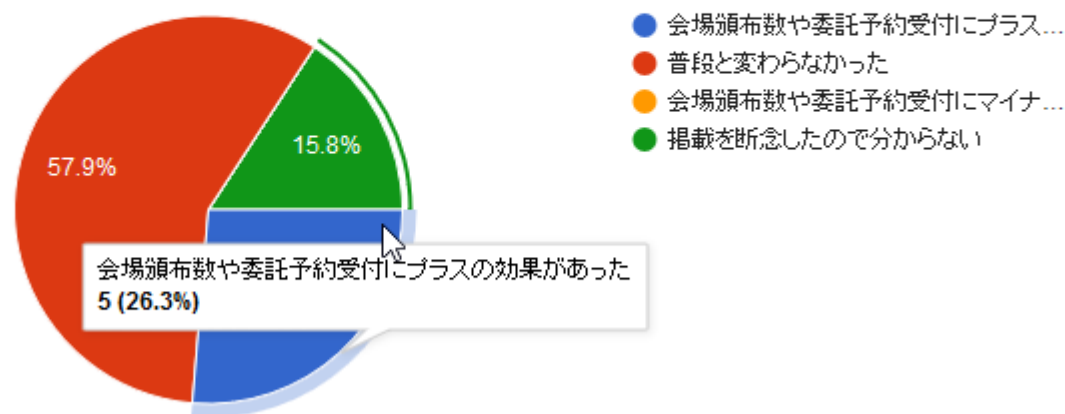
（ブログ記事等でもOKということにしていた、というのも関係しているのだろう）
だが、やはり初めて「モーメント」という機能に触れる人が多かったのだろうか、という印象を改めて受けた。

2. 整備効果（まとめられる人編） ポーリング調査結果



情報掲載を行った事によって、会場頒布や委託予約受付における何らかの効果はありましたか？

19 件の回答



まとめに掲載したことによるプラスの効果があったと回答したサークルさんは26%程度に留まった。これはまとめ自体の知名度の低さが影響していると考えられる。

一方、マイナスの効果があったとしたサークルさんは0だった。これは幸いである。

2. 整備効果（まとめられる人編） ポーリング調査結果



頂いた意見（フリーコメント）

- ◆ Twitterのモーメント機能で委託情報までまとめていただけたのは非常にありがたかったように思われます。
- ◆ まとめで作成で勝手に参加して良かったのか分からなかった。
- ◆ 作成しようとして、方法がわからず調べたもののそれでもわからず断念した。
- ◆ （質問とはズレますが補足。モーメント作成だけして公開しませんでした）

委託情報の掲載が有り難かった、という肯定的な意見もあったが、参加可否について戸惑った、手順や方法が分からず断念した、といった参加方法に関する否定的な意見が寄せられた。

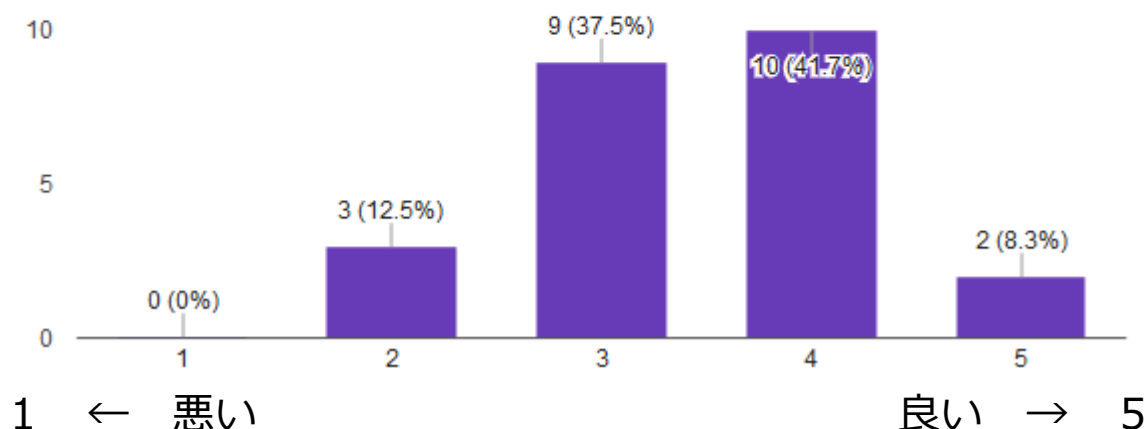
まとめに載らなかった理由について、手順ミスをしていた、と振り返るコメントも頂いた。

3. 整備効果（利用者編） ポーリング調査結果（2）



見やすさやスマホでの使い勝手は如何でしたか？

24 件の回答



見やすさ・使いやすさについては、満足度は中くらいであった。

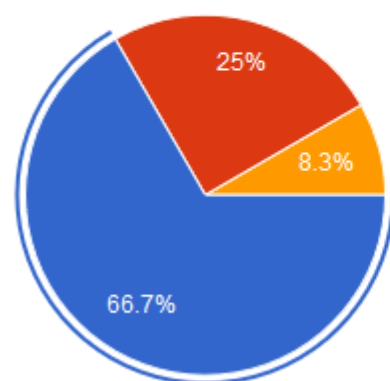
ただし、これ以上機能を増やしても煩雑になるだけであるだろうから、今後の機能改善は慎重にならざるを得ないだろう。

3. 整備効果（利用者編） ポーリング調査結果（2）



このまとめを使用する事で、欲しい本の情報を得ることができましたか？

24 件の回答



- 目的の本の情報だけでなく、知らなかった本の情報を得ることができた
- 目的の本の情報を得ることができた
- 目的の情報がまとめには掲載されていなかった情報が他のところにあった
- 期待はずれだった

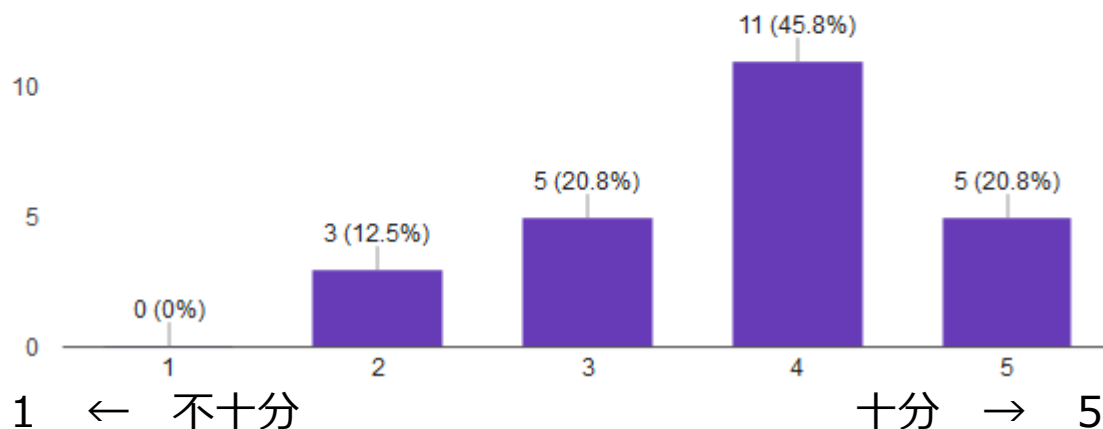
「期待はずれ」という意見は皆無であった。
但し、「まとめに載っていなかった」は少数意見ではあったがあった。
これの大きな要因の一つとしては「まとめ」の知名度不足に原因があると分析している。
この知名度不足をどう解決するか、どうやったら協力して頂けるか、は今後の大きな課題である。

3. 整備効果（利用者編） ポーリング調査結果（2）



まとめとしての機能は十全でしたか？

24 件の回答



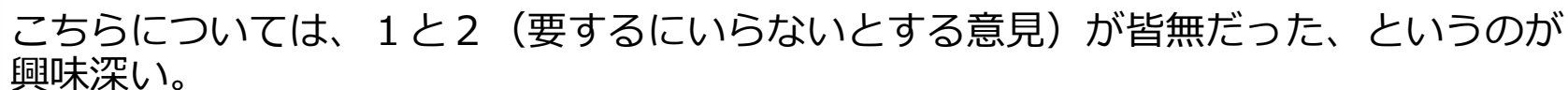
機能については、以下のような調査結果となった。

3以上（満足度高め）が大半を占め、足りないという人は3名に留まった。

このことから、まとめとして必要な最低限の機能は十分実装されていると考えてよいだろう。

東方天翔記
CPUタービ

24 件の回答



やはり「アピールの場」について、需要があるが供給が少ないのだ。

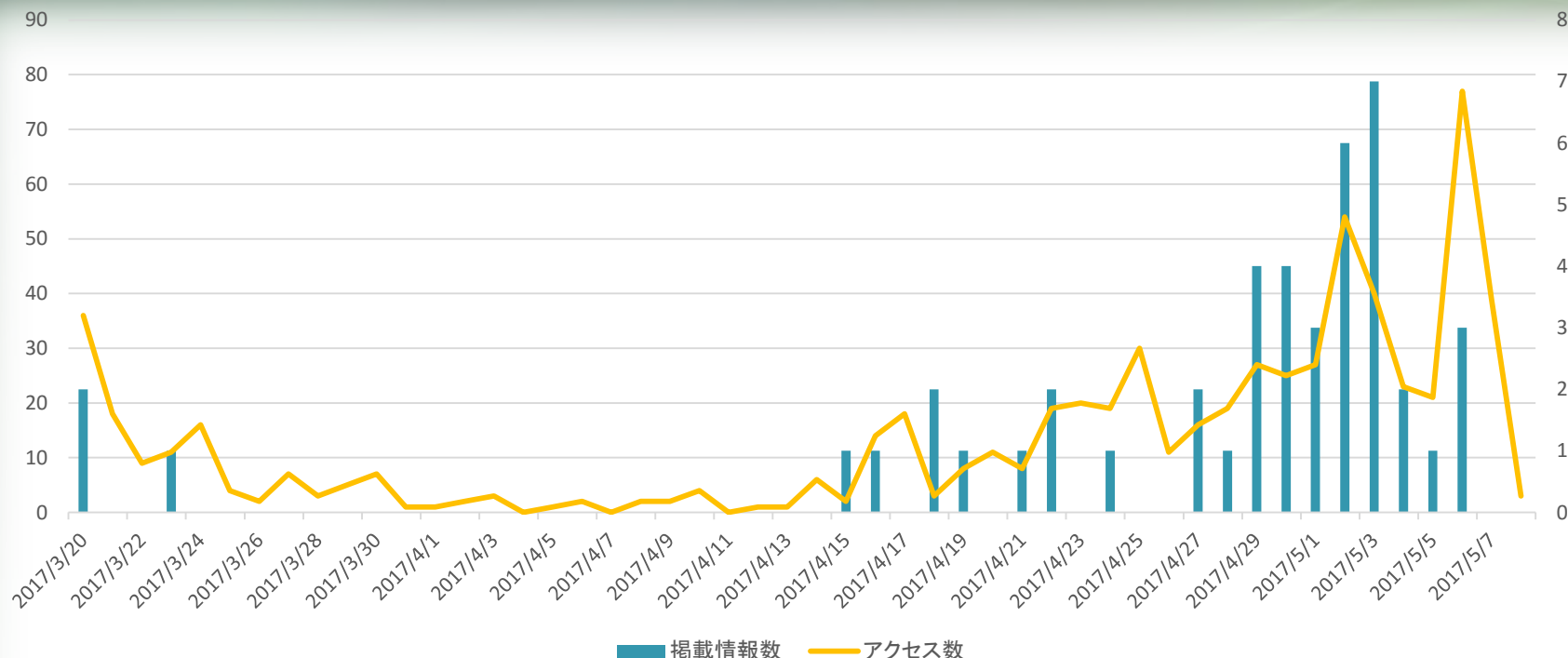
3. 整備効果（利用者編） ポーリング調査結果（2）



頂いた意見（フリーコメント）

- ◆ 例大祭以外にも、紅楼夢等で同じようなまとめページが欲しいです
- ◆ あらすじが載っていると、より小説の内容が把握できてよかったと思います
- ◆ 情報量が多すぎて作る方も見る方も煩雑になるくらいなら、今のようなサークル名と代表と頒布物の簡単な紹介程度で丁度いいと思います。
- ◆ 私にとってはこのような試みはどんどん盛んになって欲しいと思っているので応援しています
- ◆ まとめていただきありがとうございました。次回も実施されるようであればRT等で積極的に拡散していきたいと思います。
- ◆ まとめ作成お疲れ様でした。ありがとうございます
- ◆ 小説本はその場で試し読みして内容を確認める、がなかなか出来ないのも、ざっくりでも新刊の内容がまとめられていると買いやすいかもしれません
- ◆ まとめページ自体はそれなりの頻度で目を通していましたが、「モーメントで頒布情報を確認する」というのが個人的に性に合っていなかったようで、あまり参考にならなかったというのが正直なところです(モーメントに掲載されている程度の情報量で入手したくなるような本は事前にチェック済みのものばかりでした)。
- ◆ ページ数、値段、キャラなどの情報を複数サークル分まとめて閲覧できる点、特定キャラの作品を探している人にとっては検索性の高さなどはプラスポイントですし、なによりこういう試み自体は面白いものだと思いますので、ぜひなんらかの形で続けてほしいです。

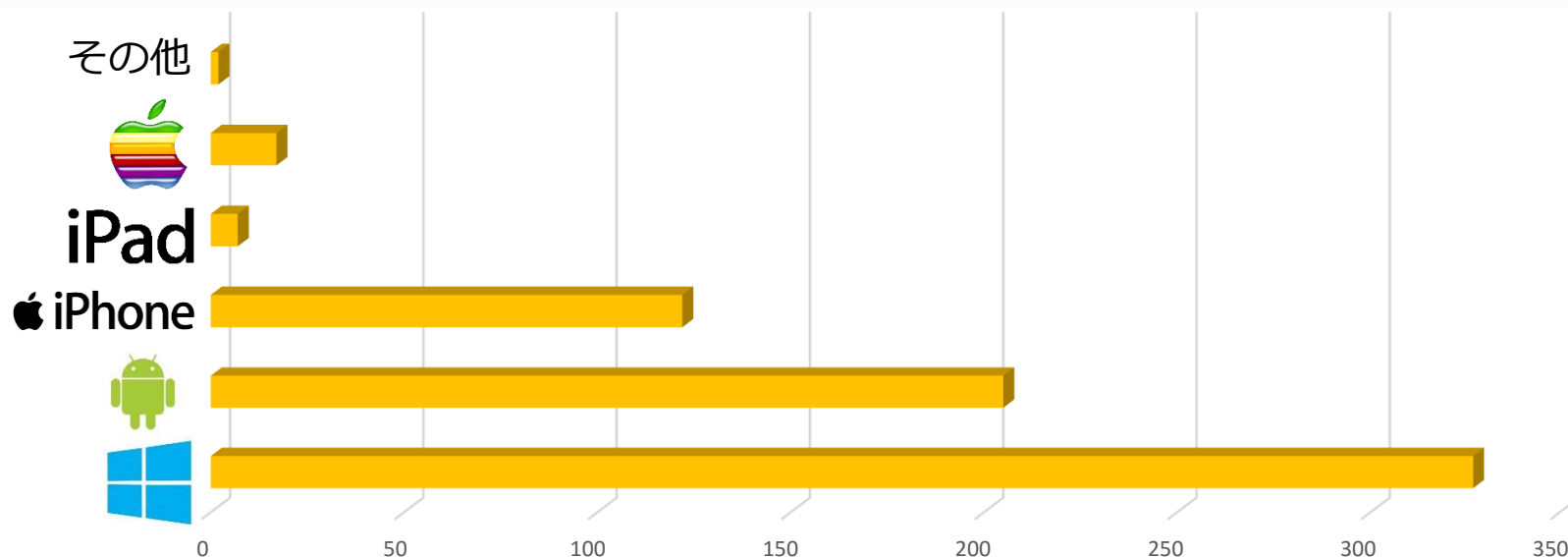
4. 統計情報から見てくるもの 閲覧数と掲載情報数



IPアドレス1つにつき、1回とカウント。期間中に合計で679回のアクセスがあった。
掲載情報数は最大45件（5/7時点）。

閲覧数が突然増えていたりするのは大型RTがあったため。それ以外は閑古鳥である。
特に序盤は掲載数も少なく（情報量が薄かったため）、一切アクセスが無かった日も
少なくない。

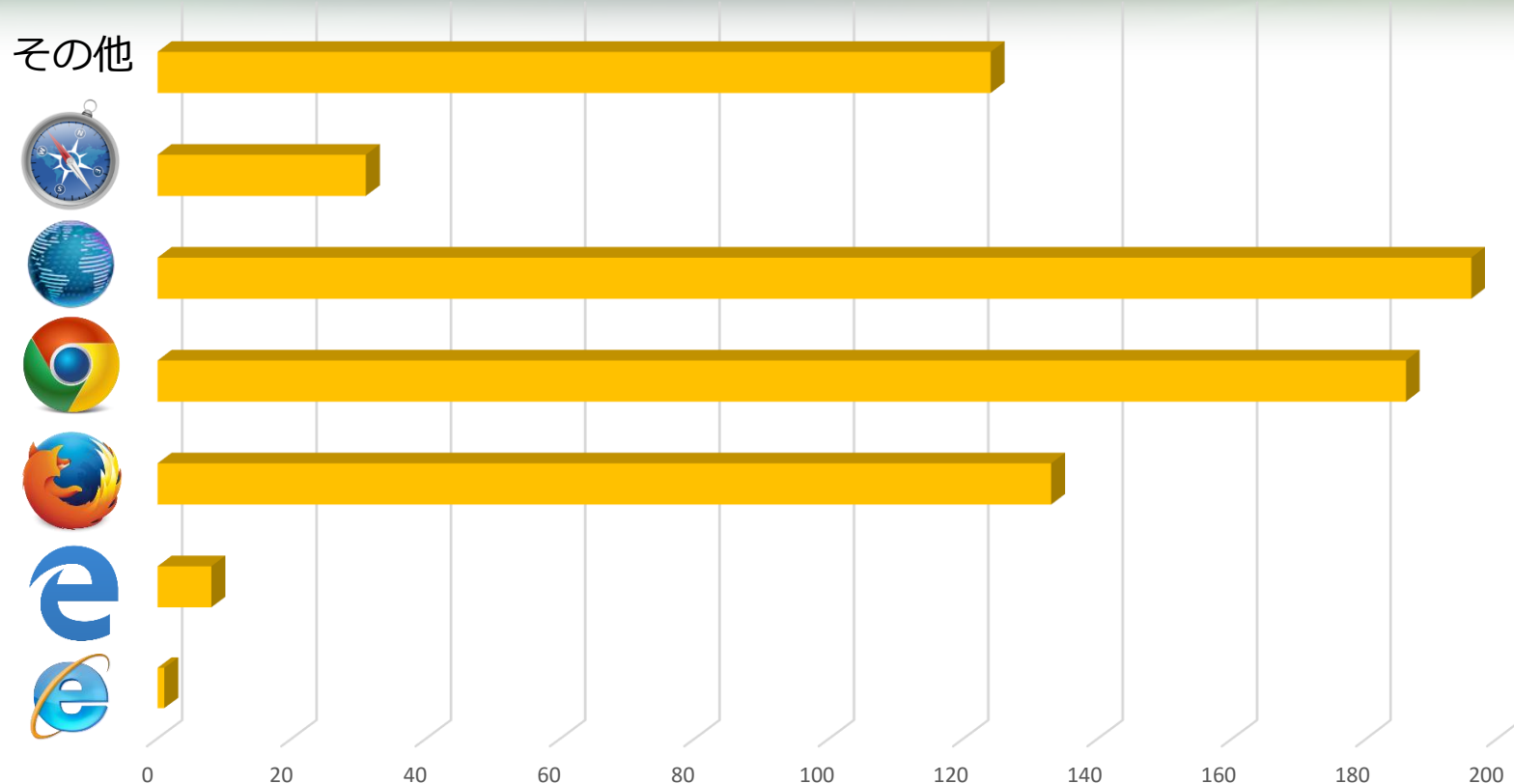
4. 統計情報から見てくるもの 利用者のOS



WindowsとAndroidだけで78%を占めている。

Macintoshからのアクセスが17回もあったのは少し驚きである。

4. 統計情報から見てくるもの 利用者のブラウザ



ChromeとAndroidのデフォルトブラウザが2強。
ファイアー藍じゃまは最近不安定なので今一つ使っている人が少なそう。
IEとedgeは圧倒的不人気。まあ仕方ないね……。

5. まとめ

統計と利用者アンケートから抽出した課題

統計から

- **スマホ経由で利用する人が多いため、見やすさを工夫する必要がある**
スマホは画面の大きさも千差万別で、どれかに対応すればいいというものでもないというのが難点である。
- **知名度が致命的に低すぎる**
このままではサークルさんに使ってもらうにしても、「誰にも見てもらえない」ため、存在意義を問われる。このまま運用を続けていくのであれば、何とかして知名度を上げていかねばならない。
これについては、もう少し知名度がある人に運営してもらうなどやりようはいくらか考え付くが、有効手段かどうかは未知数だ。
- **Webカタログにはどう逆立ちしても勝てない**
コミケット準備会で組織的にやっているWebカタログにはどう頑張っても勝てない。小説まとめとしては、これらに足りない付加価値を提供することや、ニッチ需要に対応していく必要があるだろう。
ex) ある程度あらすじを載せるなどという他にはないサービスの提供など

5. まとめ

統計と利用者アンケートから抽出した課題 アンケートから

➤ 継続して運用していけるのか

紅楼夢などでもやってほしいという要望が、アンケートから得られているが。正直なところ、自身が参加しないイベントにまで対応しようという気力は無い。一人でやるには色々と限度がある。何よりこちらは無償（ボランティア）だ。この辺りは、別途有志が立ち上がってくれることを期待したい。何ならプログラムの導入や使い方くらいはレクチャーするくらいは吝かではない。

➤ 手法が万人受けするものではない

今回は試行調査という目的に重きを置いたため、網羅性が犠牲になったという点は否めない。（あまり参考にならなかったという意見はそれに係るだろう）次回以降、やるのであれば方式をそろそろ検討しなければいけないが、こういった形が良いのか。その答えを見つけ出すのは中々に困難だ。少なくとも一朝一夕では無理。

➤ 需要に比して、供給（つまり担い手）が少なすぎる

当然、東方だけでなく艦これやガルパンなどでも需要はあるだろうが、残念ながらそういった別ジャンルへの横展開が出来るほど人材は豊富ではないのだ。（特に同人活動をやりながらこれらの運用となると、正直手一杯である）今後もより一層、「誰でもまとめられる」環境を目指して敷居を低くしていく活動を続けていく必要がある。

5. まとめ 今後の活動計画



次回以降のまとめ運用予定

- コミックマーケット9 2 (夏コミ)
→できれば。余裕があれば。
- 京都合同 (9/18)
→こちらも余裕があれば。
- 第13回東方紅楼夢・第4回博麗神社秋季例大祭
→個人的には紅楼夢参加予定だが、日程が近いため例大祭も含めてまとめて掲載することを考えている
- コミックマーケット9 3 (冬コミ)
→こちらも余裕があれば。当選したらまあ多分やる。

機能の拡張予定 (全ての要望に応える為には、それ相応の費用が必要だ)

- サークル側で情報を編集できる機能 (ほぼWebカタログに近くなる)
→ユーザー側に編集権を提供する場合に、イタズラや荒しにどう対応するかが課題。
- あらすじ掲載機能
→要望が多かったため、これは実装しようと考えている。
ただ、どういう形であらすじを入手しようか、というところは考え中。
- 著者だけでなく表紙・イラスト担当者名も表示する
→小説サーにとって、ジャケ買いは貴重な収入源。これをうまくアピールできれば良いのではないかと考えている。これはそう難しくないで次回までには。